

2.展示



カンファレンス終了後、会場の壇上を使った展示は熱心な来場者で賑わった。



日本独自の品物とその影響を受けてイタリア（ヨーロッパ）で変容した品を対比した。

2.展示



寿司の形と色合いをヒントにしながらイタリアの食材を使った「イタ寿司」



楽焼はイタリアでもっとも強い影響力と魅力を備えた陶芸の技法。イタリアの多くの芸術家やデザイナーは楽焼風の食器や焼物を提案している。



イタリアでは日本の漫画やアニメが趣味や衣類などの小物としてあらゆる世代に普及している。

2. 展示

■ 対比した展示物

◎ 日本の商品

1. Sushi(寿司)

2.a_ Dry fish and vegetables
(干し魚・乾燥野菜)

3.a_ Furoshiki(風呂敷)

4.a_ Lacquer tray
(漆塗りの盆)

5.a_ Manga-anime displayed
with action figure
(マンガ・アニメ)

6.a_ Ikebana(生け花)

7.a_ Martial arts: traditional
dress bented(武道用黒帯)

8.a_ Japanese kimono(着物)

9.a_ Geta(下駄)

10.a_ Raku(楽焼)

11.a_ Silografie ukiyoe
(浮世絵)

12.a_ Calligraphy kanji(漢字)

13.a_ Literature NOW:
Murakami and Banana
(村上春樹と吉本ばなな)

◎ イタリアの商品

1.b_ Itasushi and italian fingerfood(イタ寿司)

2.b_ Vegetables chips-apple chips
(野菜チップ)

3.b_ Furoshiki used to keep babies on
shoulders(赤ちゃん用肩掛け風呂敷)

4.b_ imitation lacquer tray for presents
(漆塗りの盆のギフト用模造品)

5.b_ Italian t-shirt with japanese inspiration
(日本アニメに影響を受けたTシャツ)

6.b_ Contemporary flower composition
(現代風のフラワーアレンジメント)

7.b_ Traditional martial bent with italian
names(イタリア語で名前が入った武道用
帯)

8.b_ italian kimono-like dress (lab moda
polimi)(イタリアの着物風ドレス)

9.b_ Shoes inspired by geta(下駄に影響を受
けた靴)

10.b_ Ikea ceramic or design raku-style
(イケアの楽焼風陶器)

11.b_ Tuning car
(浮世絵風デザインを絵柄にした改造車)

12.b_ Jewels inspired by kanji
(漢字のデザインに影響を受けた宝石)

13.b_ Literature NOW: Murakami and Banana
(村上春樹と吉本ばななのイタリア語版)

3.レセプション

レセプション

- 時間 18 : 30-20 : 30
- 場所 Chiostro delle Statue

中庭で日本酒カクテルと食事を楽しむ



カンファレンス終了後、会場を Chiostro delle Statue に移して、レセプションを実施。カンファレンス関係者、来場者の懇親を深めた。今回のレセプションは日本とイタリアのフュージョン、現代と伝統のフュージョンをコンセプトに、食事や音楽を楽しんだ。

左は乾杯の発声をする横尾局長とステアリングコミッティのマッサロット氏。



徳島県産の日本酒や、Cool Giappone, Kyoto Breeze など日本酒をベースにしたカクテルに、日本食の影響を受けたパーティメニュー、日本の伝統音楽 & 現代のDJプレイで来場者を楽しませた。

3.レセプション

日本の食の魅力を伝えるメニュー

レセプションの料理は日本食に詳しい人気フードスタイリストのフランシスコ・ドラジオ氏が監修、日本食に影響を受けたフュージョン料理を味わった。



左端がドラジオ氏



カジキを使った日本とイタリアのフュージョン料理

3.レセプション

日本人による伝統と最新の音楽の共演

レセプション会場では、フランス在住の箏奏者、日原史絵氏による演奏と GAKU SATO 氏、HIROKOMEISTER の DJ プレイを交互に展開、パーティの場を盛り上げた。



日原 史絵氏 (箏・三味線・歌)

9歳から箏を、15歳から三味線を習い始める。17歳で師範免状取得。1998年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。

2004年フランス・アビニョン演劇祭での公演がきっかけとなり、フランスを中心にヨーロッパ各地と日本を行き来しながら演奏、創作活動を展開。

最近では、日仏の現代音楽作曲家、アンサンブルとの共演や、17世紀の楽器の共演チェンバロ奏者とのデュオ、ヴェトナム・韓国・中国・日本の伝統楽器のカルテット、コンテンポラリーダンスとの共演などに取り組み、新たな箏・三味線の可能性に挑む。

音楽の枠に収まらない独自のパフォーマンスはヨーロッパで高く評価されている。古典や創作、自作曲を収録したCDが今まで4枚発売されている。



GAKU SATO (DJ)

日本の美大にてデザインの勉強を終えた後、1991年イタリアに留学。ミラノにてDJとしても活躍されています。現在、作曲家、音楽プロデューサーとしてミラノのデザイン大学でサウンドエンジニアを教える一方、ファッションコレクションで毎シーズン、さまざまなブランドのショーのDJとしても活動されており、デザインと音楽の関係に造詣が深い。

HIROKOMEISTER (DJ)

ジェノバ在住。大きな話題になったlouis vuittonとアーティストの草間彌生がコラボレーションしたシーズンのDJを担当。

3.レセプション

新たな「クールジャパン」をアピールする日本製品展示

レセプション会場では、徳島の県産品である藍染めレザーの小物類や浴衣、県産の日本酒・焼酎、すだちサイダー&すだちジュースや鳥取県のバッグメーカー、バルコスの折り紙風で折り畳みが出来るバッグなどが展示された。



バルコスの折り紙風折り畳みバッグ～
イタリアで展開しているのは「Hanaa-fu」というライン。

